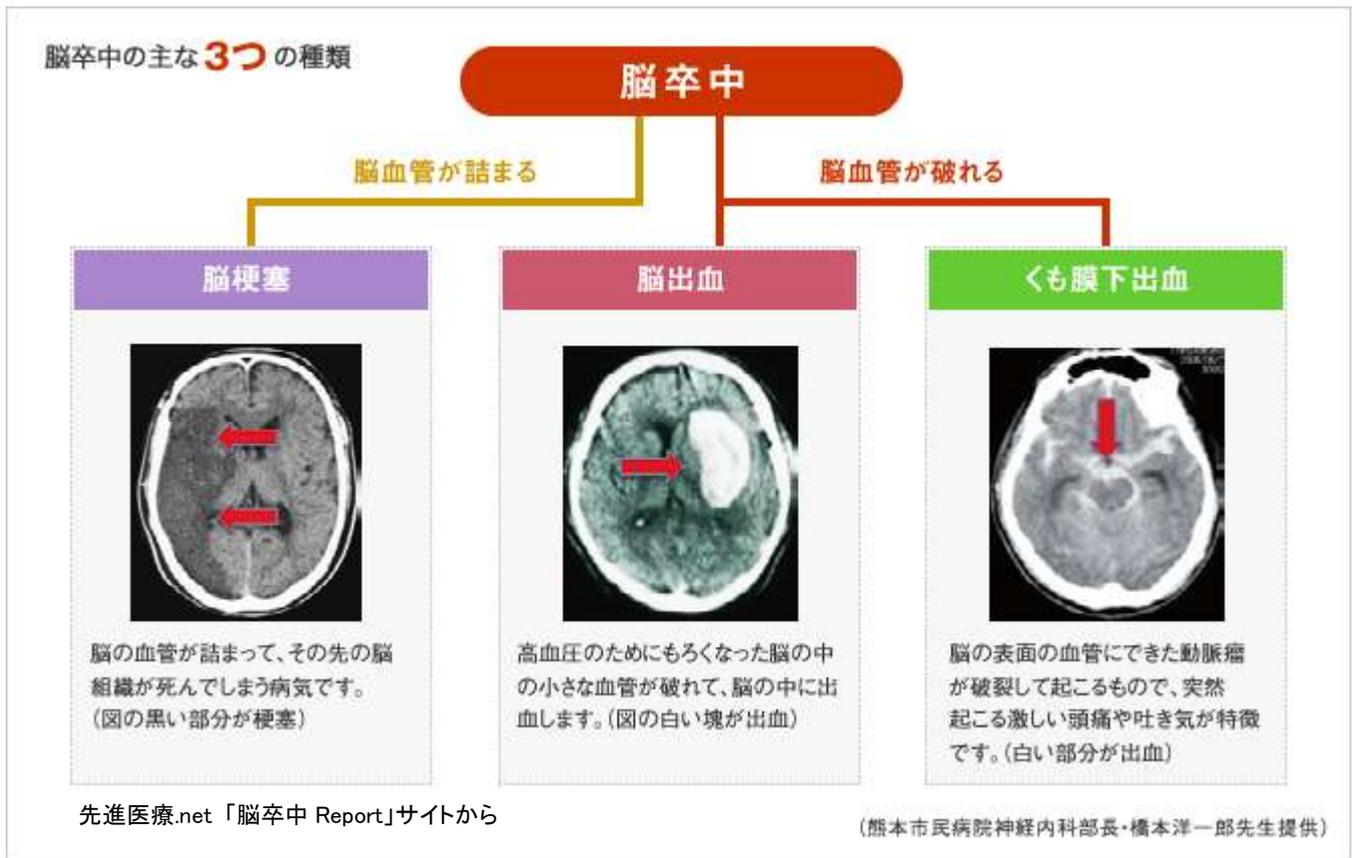


週刊 タバコの正体

タバコのパッケージには、『喫煙は、あなたにとって心筋梗塞しんきんこうそくの危険性を高めます』という警告文が印刷されています。心筋梗塞は、心臓の血管が詰まり生命に直結する怖い病気だという事を知ってもらいましたね。じつは、その他にも数種類の警告が用意されていて、いずれかが印刷されています。

そこで、今回はその中から『喫煙は、あなたにとって脳卒中のうそっちゅうの危険性を高めます』という警告文について紹介します。



脳卒中は、脳の血管が詰まったり破れたりする病気で、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血と呼ばれる事もあります。手足がしびれたり、激しい頭痛や意識障害などの症状が突然起こるのが特徴で、ガン、心臓病に次いで日本における死因の第3位となっています。脳卒中で亡くなる人も多いのですが、生存してもその後遺症のため寝たきりになる人が多く、介護が必要となる病気の第1位だそうです。

厚生労働省の「脳卒中ホームページ」によると、毎日40本タバコを吸う人は、吸わない人に比べて4倍も脳卒中で死亡しやすいので、その予防にはタバコを吸わない事が重要だとされています。

『喫煙は、あなたにとって脳卒中のうそっちゅうの危険性を高めます』の警告どおりです。

産業デザイン科 奥田 恭久